

新宮木協コミュニケーション誌

No.122 1/1



新宮

木協だより

2009年(平成21年)

(昭和37年12月10日創刊)

発行/新宮木材協同組合 総務委員会
〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号

TEL. 0735-22-6105(代)

FAX. 0735-22-6107

URL: <http://www.shingumokkyo.com> e-mail: s-mokkyo@shingumokkyo.com



新春初市

1月16日(金)

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十一年 元旦

ホームページ随時更新中

新宮木材協同組合

検索



第49回 木霊塔建立供養式 木遣り音頭(新緑会)

今年は新緑会創立50周年です。

ホーランエー
めてたくの ヤーエ
ヤットユセ ヨイヤナー
めてたくのわかまつさまは
えだもさかえて はもしげる
ヨイトナー
アアソーレワ
アリヤ〜リヤ
アア ヨイトユ〜セー

新年に寄せて

新宮木材協同組合

理事長 玉置 研二

あけまして
おめでとーございます

今年も宜しく

お願いいたします

今年(丑)は丑年。この丑という字、私には書き順もよく分からないし「うし」以外の読み方もわからないし…不思議な字に見えてきます。糸偏をつければ「ひも」と読むのに糸偏がとれたらなんで「うし」?と思いませんか? 解答は十二年後の次の丑年の際の理事長に委ねることにしましょう。

…とこんなどうでもよいことはこれくらいにしないと暗雲がたちこめつぱなしの業界や組合員の皆さまにお叱りを受けそうですが新年から暗い話題というのは無粋なので、勘弁を。さて、昨年は数年ぶりに視

察旅行を行い、その旅行にも参加させていただきました。残念ながら参加人員は少なかったものの非常に意義のある研修・視察をすることが出来たと感じています。

視察先はジャパンホームショー。詳しい内容はこの木協だより(五面)で紹介されると思いますが、避けませんが、ひとつだけ。

杉を扱うブーアのスタッフとの話です。『あなたは(私のこと)木材関係者だと思おうので話しますが』と前置きしたあと『日本人が杉を好むのはその材の色が日本人の肌の色と同じ、それで体が一番休まる横になったとき目にする天井板が杉なのですよ。』というのです。彼の弁によると肌と同じ色の天井板は今で言う「癒し」の効果を生んでいるそうです。あまり凝視することのない柱や

構造材には桧。これは丈夫さを第一に考えてのこと。

そしてなにより『杉の触り心地は赤ちゃんの肌触りと同じ』『そんな木に囲まれた暮らしが不快なわけがない!』と断言していました。私は今までそのように考えたことさえなく、杉、広い意味での木材に対する考え方の一種のカルチャーショックに似たものを肌と感じました。

この話はそのスタッフが営林署に勤務していた頃、山で働く柚人から聞いた話だそうです。

この話には納得できないところも異論もあるでしょう、しかし本当に木を愛していなければこのような言葉は出てこないのではないのでしょうか。その精神・気持ちだけでも見習わなければと思っただけです。

他にもジャパンホームショーでは色々新しい知識、情報を得ることが出来ました。全く別の業種(機械・工具・金物等など)のブーアでもその内容はとても興味深

く、好奇心を煽られ続けた一日でした。

そして何より今回の旅行では少人数ながらも若手新緑会員と心を打ち解けて話が出来たのが大きな収穫だといえます。少人数ゆえだつたかもしれない。これこそ旅行の大きな意義の一つでしょう。若手の目から見てわれわれがどう映ったかは知る由もありませんが、少なくとも今回のメンバーの中の親睦、理解は深まったと自負しています。

総務委員の皆さまにはお手数をおかけしますが、また有意義な研修、視察旅行の立案をお願いしたいところです。

一家に丑年生まれが三人いるとその家庭は安泰、良いことが起こるといわれるそうです。きっと牛の『一歩一歩着実』というイメージからの言い伝えなのでしょう。

調べたところ組合員の方に二名の丑年生まれの方がいらつしやいます。あと一人足りないのですがその一人を丑年生まれの新緑会員

三名で補ってもらおうこととして、これで今年の新宮木材協同組合、五十周年を迎える紀南木材新緑会は安泰ということにしましょうか。

本年も組合員と皆様のご家族、従業員の皆様にとつて良い年であることをお祈りして挨拶とさせていただきます。

追記

本文内でちよつと触れた丑の書き順ですが刃(のよう)と書いてその下に一(一)というのです。活字でみる限りなにか複雑な書き順に見えるのは私だけだったのでしようか。ちなみに画数は当然ながら四画です。

謹賀新年

本年もよろしくお願
い申し上げます

新宮木材協同組合

組合員一同



㈱新宮原木市場
第四十二期
定時株主総会

八月二十八日、新宮木材会

館に於いて㈱新宮原木市場の第四十二期定時株主総会が開催され、提出議案はすべて原案通り承認可決され、任期満了に伴なう取締役の改選並びに同日の取締役会にて次の通り決定しました。尚、長きに亘り当市場の取締役として貢献された速水渉氏が退任されました。永年に亘り尽力されたこと厚くお礼申し上げます。

代表取締役社長	川崎 俊一
代表取締役	植松 浩
取締役	中 光男 玉置 研二 瀧岡 俊太 谷口 泰仁
監査役	田野上之保 吉田 一茂

木材副産物を取り巻く現状
紀南木材副製品㈱ 代表取締役社長 三島 正人

まことに厳しい状況下でありながら、株主皆様のご協力によりまして第二十八期も黒字で決算を終えることができ、十一月二七日に開催いたしました定期株主総会も、多数の株主様にご出席賜り、議案すべて原案通り承認していただきました。まことにありがとうございます。

さて、木材副産物を取り巻く現状ですが、サブプライムローンの焦げ付きに始まり、リーマン・ブラザーズの破綻等々、グローバル的に経済が下落し続ける昨今、日本の木材・住宅・建設不動産業、のみならず自動車産業・金融関連も最悪の状況であります。が、まだまだ悪化するだろうと予想されております。この

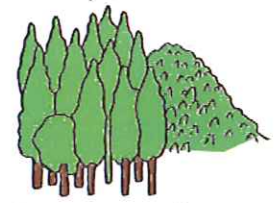
情勢の中、全国的に製材所の稼働率も大幅に低下し、発生するオガ粉・バーク等も減少しており、希少価値が高まる中、オガ粉につきましては徐々に価格の上昇が浸透してきておりますが、バーク堆肥、特に法面緑化用につきましては、同業他社の意向を探りながら、各販売先に価格引上げの交渉を行っておりますが、競合する畜産堆肥や剪定枝堆肥また工事現場発生

の伐採木粉砕堆肥等々と品質を問わず、価格ばかりを比較され、値上げが難航している状況であります。しかしながら各メーカーとも、製造コスト・発送運賃・消耗品(袋など)の原価アップ分を製品価格に転嫁しなければ厳し

い経営内容で、数社による販売価格協定のような話し合いがあった模様です。しかしながら現状は公共事業のますすの減少、大型物件の減少により、いざ見積りとなると、やはり安価な価格が出ております。

紀州製紙のバイオマスボイラーも順調に稼働されており、堆肥化に溢れる分は燃料に使用していただけるのと契約は頂いておりますので、以前のように処理に苦労することはなくなりました。減少する原料にていかに施設を維持してゆくか、役員一同、懸命な努力を続けております。今後とも皆様のさらなるご協力をお願いする次第であります。また、十月からの瑕疵担保保証保険に関する新JAS法の問題や市況の低迷による製材所の生産量の減、山林伐採量の減、原木市場への入荷量の減はオガ粉・バーク・チップの発生減少に繋がりがり、タオ熊野協同組合・紀南木材副製品の運営に大きな影響をもたらします。当地域の地場産業である木材産業を継続してゆく為には、山林から木材副産物の販売まで連携を保ち、各生産段階を一体として考えてゆかなければならない時代ではないでしょうか。

景気の回復は不透明、数年先になると思われます。紀南木材副製品、木材業界と一体となり現状を乗り切る所存であります。あらためて木材に係ります皆様さらなるご協力をお願いいたします。



木とのおいしさを育てる

**世耕弘成参议院議員
との懇談会**

去る平成二〇年十月五日、午後一時四〇分より木材会館二階小会議室にて、標記懇談会を開催致しました。若干早めに到着した先生は、同日開催されていた、第三十一回木工工作コンクールを見学、その後懇談会となりました。

まず、最初に玉置理事長より歓迎のご挨拶並びに業界の現況を簡単に述べ、その後木材業の夫々の立場から現在の窮状を訴え、林業からは植松副理事長、素材生産業からは瀬古理事、原木流通から川崎理事(株新宮原木市場社長)、次代を担う若者から江崎新緑会会長、製材業、及び建築業の立場から速水理事(新宮原木買方組合長)が夫々意見を述べていきまし



熱弁をふるう世耕議員

た。林業者の相続、次世代を担う若者の不足と労働意欲の低下、瑕疵担保責任履行法、改正建築基準法など多岐に渡って夫々が意見を出し合い、最後に世耕先生から、緑の雇用、地球環境問題、グリーン購入法、セカンドハウス減税、二百年住宅等と併せて地域の問題となっている医師不足についても触れながら国政全般の諸問題も含めましてご挨拶を頂戴しました。皆さんの意見はとても逼迫したものであると感じた先生は、今後この案件を踏まえ、速やかにこの状況を打開できるような国政に望みたいと述べられました。最後に谷口副理事長より閉会挨拶を行い皆様の拍手の中、世耕先生は夫々の参加者に握手をして会場をあとにしました。

『雇用環境改善セミナー』並びに『JAS制度の説明会』

平成二十年九月三日(水)午後五時から新宮木材会館二F 会議室にて参加人数二十五名を集め『雇用環境改善セミナー』(講師社会保険労務士 水城 実氏)並びに『JAS制度の説明会』(講師 和歌山県木材協同組合連合会専務理事 高井 一治氏)を開催致しました。玉置理事長の挨拶後、水城先生より配布された賃金や休暇など経営者からの質問が表記された資料に、ひとつひとつの回答を示し、又質問を行ないました。各経営者は、今までと認識が異なっていたことや、実際行われている残業代の支払方法が誤りであったことなどに、驚きと関心を示し終始講師の話に耳を傾けておりました。続いて高井専務よりJASに関するパンフレットが配布され、説明が行なわれ、今後の瑕疵担

保法の実施に伴って起こりうるかもしれない問題などが説明されました。聴講者の多くが製材業者であるため、現状の厳しい状況に加えさらにJAS製品の使用が前提となれば、この地方の製材業者は、全て淘汰されてしまうため、なんとか県木連から全木連に零細企業の大変厳しい状況を伝達してほしいとの発言や、又今後、JASの認定を受けるためにはどのような設備が必要なのか、維持するために係る人員並びに費用はいくら位必要なのか、数種類のJAS品目があるが、実際ひとつの製材所でいくつのJAS品目が必要なのか等、数多くの方々が様々な質問が挙げられ、その回答に高井氏は現状分かる範囲で丁寧に回答しておりました。高井氏への訴えは、紀南地方の製材所全ての意見であると感じ入り、皆さんの熱心な質問や聴講姿勢は厳しい木材業界の現状が具現化したかのようでした。



水城先生(写真中央)と高井専務(写真左)

※「世耕弘成参议院議員との懇談会」「雇用環境改善セミナー」並びに「JAS制度の説明会」、新緑会OBとの懇親会、第四十九回木霊塔建立供養式の模様はDVDにて録画しております。鑑賞ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

研修旅行

ジャパンホームショー二〇〇八

平成二十年十一月十三日、白浜空港にて新宮からの参加者、岡崎委員長、速水洋平氏、久保太嘉志氏と合流、十一時羽田空港行きのために搭乗しました。一時間の空の旅を経て羽田空港到着。ロビーにて東京合流の玉置理事長、瀬古 穰氏と空港内のレストランで昼食をとりました。昼食後、十三時五分発のシャトルバスを使い東京ビックサイトに到着、受付を済ませジャパンホームショーを見学しました。



東京ビッグサイト ジャパンホームショーにて

会場内はあまりにも出展数が多いということで相対した結果、二つのグループに別れ場内を見て回り、時間を合わせて入場口にて合流することとなりました。和歌山県(株)山長商店、松阪ウッドピアのブース等を見学し、担当者の方に現状の木材情報、木材



木曳き実践中の玉置理事長

価格の動向等を聞いたところ、業界大変厳しい状況ではあるが、明確な品質管理と価格設定を行うことが、今後の業界を立て直す手段である



和歌山県(株)山長商店のブース

と述べておりました。又、大きくとられた秋田のブースでは木曳きの実践をおこなっており、玉置理事長が実際に挑戦しておりました。十六時、ゆりかもめにて新橋に向い、十六時三十分にてエックイン、休憩後、十八時より全員揃って会食を行ない一日目は終了となりました。

翌日十四日は各自お得意様を訪問したり、製品市を見学したりして営業活動を行ない、その後、少し時間がありましたので玉置理事長にお願いし、都内の見どころを数ヶ所を案内して頂きました。帰りの集合時間が来まし



熱心に見学しております

たので一路空港に向かいロビーにて他の人と合流し、土産の購入等を済ませ、十七時三十分発の飛行機にて白浜に到着しました。空港到着後、岡崎委員長挨拶を行ない解散となりました。



ウッドピア松坂のブース

とても広大で様々な展示があり、ひとつひとつをじっくりと見ることはできませんでしたが、魅力ある素材、製品などが多く、新たな発見や見識を高めることができた。特に若手の方々には好評でした。又、都会の空気に触れることで新宮では感じることの出来ない新たな商取引や、最新の情報を肌で感じることが出来、大変勉強になりました。

(事務局 糸川)



会食 夜景をバックに

新緑会OBとの懇親会

平成二十年十月八日(水)

午後六時より木材会館二階大会議室にて標記懇親会を開催しました。新緑会は一九五九年(昭和三四年)に発足し、平成二十一年で五十年を迎えることとなります。会員内にて記念事業を考えており、OBの方々の意見も聞きたいという考えのもと、先輩方にお集まり頂きました。参加者には歴代会長、賛助会員、現会員計二十五名が出席し、その中には七代目会長(現会長は三四代目)の須川市朗氏にもご出席頂きました。実行委員長の速水祥久



会長当時を話す須川市朗氏

ご協力をお願いします!



(江崎 大晃)

のち、食事をしない、進行中の事業について各担当役員から説明が行なわれました。質疑応答終了の後、須川氏を皮切りに歴代会長、賛助会員から新緑会発足にはじまり、紀南木材副製品の設立、児童生徒木工工作コンクールの話など、その時代時代の新緑会の活動や記憶に残る出来事を話し、過去撮影された写真を観賞し、思い出話に華を咲かせながら好評のうちに終了しました。



思い出話に花が咲くOBの皆様

第三十一回児童生徒木工工作コンクール

平成二十年十月四日、五日の両日、児童生徒木工工作コンクールを開催致しました。二日間で約四百人の来場者を迎え盛大に執り行いました。本展では六五三の木工作品を展示し、上位三点は、石川県で行われる全国大会に出品する予定です。木工展に協賛いただいた各団体の方々、各小中学校の先生方、その他お世話になった皆様方に厚くお礼申し上げます。

(青木 優朋)



新宮木材協同組合理事長賞
作品名 『カマキリ』
神内小学校5年
箱木 翔



新宮市長賞
作品名 『スリッパ』
光洋中学校2年
馬込 志保美



知事賞
作品名 『くじらのしっぽ』
太地小学校3年
下地 祥太



新宮信用金庫にて展示された三賞



展示作品

出張

木工教室

紀南木材新緑会では、新宮市内の六年生を対象に、木のぬくもりに触れ、木に親しんでもらうことを目的として、

出張木工教室をそれぞれの学校で開催しております。今後も多くの人々に、木に親しんでいただけるような活動をしたいと願っております。

(速水 洋平)



指導風景

平成二十年
御船祭早船競漕
王子区 一二連覇!

平成二十年御船祭御式(ときよしき)(早船競漕)で優勝し、平成十九年度に引き続き二年連続で勝ち抜いて王子区が連覇を果たす事が出来ました。

御船祭渡御式(早船競漕)は、丹鶴小学校下の河原に早船九槽が待機し、審判員の合図で漕取りが一斉に船に乗り込み約一・六キロ上流にある御船島を目指し、三周してゴールする競漕です。平成十九年度は一番下流からのスタートでみんなが息を合わせ順調に一番乗りでゴール出来ました。

平成二十年度は、スタートから何度か他の地区の船との接触がありながらも漕ぎ抜きまた去年とは違った形で優勝できました。一ヶ月に渡るハードな練習と、その中で培われたチームワークが実を結び二連覇という成績を収めることができました。

我々に惜しみない協力と応援を賜りました御船OB、御船関係者、地元の皆様方、本当にありがとうございます。

(速水 洋平)



王子区 早船の雄姿

三代目登場!

はやみ 速水 洋平さん (31才)

会社概要

祖父 速水 洋氏が(有)丸洋を創業。その後、父 速水 忠男氏が継承し建設業、プレカット業などを行ないつつ現在に至る。

横顔

去年は、お灯祭りでは一番、御船で二連覇、又父忠男が木霊塔の献木を行なうなど充実した一年でした。本年は新緑会も50周年ということもあり、暗い話題が続く木材業界に、明るい話題をもたらしたいと思えます。今後とも皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。



新緑会五十周年に向けて

(II)

本年、いよいよ新緑会五十周年事業が本格的に始動致します。木協だよりに掲載されておりますOBとの懇親会(六面)や、記念行事に向けての調査・検討等、鋭意進めております。現在の進行状況を各担当より報告すると共に皆様におかれましては尚一層のご協力を何卒お願い申し上げます。

(速水 祥久)

① 木霊塔の献木

新宮木協事務局に協力頂き、予算等、打合せを行っております。又自分自身総務委員の立場から本年度の木霊塔献木に向けて積極的に本行事の流れなどを把握し今後新緑会員と綿密な打合せを行いながら、行事成功に向け尽力して行く所存であります。

(瀬古 伸一郎)

② 記念式典

現在、式典にできる限り当会員OBの方々を招待したいと考え、過去の新緑会員名簿等を元に調査を

行っております。何分、記録されている住所が古く、現在の住所が分からない方々も存在しており、OBの方々におかれましては、情報提供等何卒ご協力の程お願い申し上げます。

(板谷 貴史)

③ 記念誌の作成

過日、行われたOB会での談話を元に木協事務局ご協力のもと、年表を作成しております。今後は掲載する写真の選択、紙面の充実を進めていきたいと考えております。

(江崎 大晃)

④ 所有山林の間伐

昨年五月十八日に新緑会所有の山を調査・見学し、十二月に間伐を行いました。新緑会の長い歴史と共に育った木々に感動を禁じえませんでした。

(川崎 康弘)



間伐後の山林

図書の紹介

「竜馬がゆく」



第一卷 (安政諸流試合) 北辰一刀流

第六卷 (秘密同盟) より 薩長連合 (薩長同盟)

隙ができた。竜馬の壮大な鉄砲突きがきまったのは、この一瞬である。だあん、と桂ははねとばされ、面がのど輪からつきあげられて、なかに脱げたという。武市はよほどうれしかったのかこの時の情景を絵にかき、故郷の父にかき送っている。その手紙にて「もし坂本負け候ときは野生(じぶん)の順番と相成候処、幸ひにして天下に恥さらさざるはこの上の幸せ候、あまりの嬉しさに、拙画をもつてご覧に供し候間、御一笑されたく」この坂本竜馬と桂小五郎との試合については残っている記録が多い。(省く)。※右の情景は竜馬と小五郎の一勝一敗後の最後の勝負です。武市は剣技に於いて小五郎を苦手にしていたとの由。※長州の桂小五郎が神道無念流の塾頭であり土州の坂本竜馬は北辰一刀流の塾頭。当時、武市(月形半兵太)は土佐の吉田松陰ともいわれたそうです。尚、この試合は流儀(派)の名誉というより藩の名誉をかけた闘いとのこと。

この当時、薩長連合といふのは、竜馬の独創的構想ではなく、すでに薩長以外の志士たちのあいだでの常識になっていた。薩摩と長州が手を握れば幕府は倒れるというのはだれしも思った構想である。(中略) 竜馬と同郷の中岡慎太郎などは、もつともそれを思った。中岡が大宰府の旅寓(りよぐう)から国府の同志に書き送った長文の論文があり、非常な卓説として評価されている。その中に「自分以後、天下を興さん者はかならず薩長両藩たるべし」とあり、つづいて「吾(われ)思うに天下近日のうちに二藩の名に従うこと鏡に掛けて見るが如し。而して他日、国体を立て外夷の輕侮を絶つも亦(また)この二藩をもとずくなるべし」といつている。すでに公論である。しかししよせんは机上の論で、(中略)竜馬という若者はその難事を最後の段階ではひとり担当した。桂の言葉(捨身のセリフ)「薩長※皇家二尽スアラバ、長州滅スルトイヘドモ亦天下の幸ナリ」

(薩州があとに残つて皇家につくすあらば、長州が幕軍の砲火にくずれ去るとも悔いはない)を西郷に伝え「いま桂を旅宿に待たせてある。さすればすぐにこれへ呼び、薩長連合の締盟をとげていただこう。竜馬はそれだけのように、あとは射(い)るよ。西郷を見つめた。筆者はこのくだりの事を、大げさではなく数年考えつづけてきた。じつのところ、竜馬という若者を書こうと思ひ立ったのは、このくだりに関係があるといつていい。(中略)すでに薩長は歩み寄りの見込みはついている。あとは感情の処理だけである。薩摩側も、なお藩の体面と威敵の為に黙している。桂の感情は果然硬化し、席をはらつて帰国しようとした。この段階で竜馬は西郷に、「長州が可哀そうではないか。」と叫ぶようにいつた。当夜の竜馬の発言はほとんどこのひとことしかない。歴史は回転し、時勢はこの夜を境に倒幕段階に入った。一介の土佐浪人から出たこのひとこと、ふしぎさを書こうとして、筆者は三千枚近くの枚数をわたり、してきたように思われる。事の成るならぬは、それを言う人間による。ということとを、この若者によって考えようとした。

※皇家：狭義では朝廷、天皇家、広義では京都朝廷を中心とした新統一国家

※当時の時代的背景 幕末の二大雄藩薩摩と長州は元治元年(一八六四)の政変で長州は薩摩と会津に中原の地、京都を追われる。よつて薩摩は仇敵であった。

第八卷 (近江路)：最終章より 草莽の士を中央へ

“硯の海に浮かぶ思ひの数々の 書き尽くせぬは涙なりけり 勲(いさお)なく我身は今に永らえて 世にも人にも恥ぢざらめやは”明治二十二年、当時子爵になつていた由利公正は人に問われ、竜馬が福井に呼び出しに来てくれた当時のことを述懐し「：往事追感に堪へず」と書き、竜馬追憶の歌を書きとめている。：この日ふと二十三年前の風雪の頃を思い、竜馬のことを追憶した時、思いは慟哭をともしなわずにいられたのであろう。：

※由利公正 越前福井の藩士、旧姓、三岡八郎、過激勤王主義の罪で入牢。禁錮五年、幽閉中のところ、かねてより彼の実務的な貿易、殖産の能力を高く評価していた竜馬の強い要望により刑半ばにして出獄を許可される。その後あたらしい日本の財務担当官として竜馬に推挙される。新国家の国是「五箇条の御誓文」を桂小五郎らとともに

・作者・司馬遼太郎さんはこうもいつています。“天に意思がある。としか、この若者の場合思えない。天が、この国の歴史の混乱を收拾する為にこの若者を地上にくだし、その使命が終つた時、惜しげもなく天へ召しかえした。そして(あとがき)の中で繰り返して”日本史が坂本竜馬を持った事はそれ自体が奇蹟であった。なぜなら天が奇蹟的人物を恵まなかつたならば、歴史はあんなにかわつていたのでないか”と。

※「竜馬がゆく」(文春文庫) 全八巻より引用 (総務委員 瀬古 穰)



— 概況 —

秋の本格的な伐期を迎えても出材は増えてこなかった。

表面的には人手の問題と言われていているが、本質的には木材価格が問題である。

現在の相場は何とか少出材で保たれている、と言える。

しかし、先行き値下りしそうな心配も感じられる。

欧州材集成材製品が為替円高の影響で値下りしそうな為、競合する杉製品の価格にも影響が出るかもしれないからだ。

当社ホームページ

新宮原木市場 検索

樹種	形状	平成20年			備考	
		10月	11月	12月	長さ(m)	径(cm)
杉	4m 小丸木材	5,700 (7,000)	5,500 (6,900)	5,400 (6,800)	4	6~12
	3m 柱材	9,100 (7,800)	9,400 (8,800)	10,200 (8,800)	3	14~16
	4m 中目材	10,900 (12,700)	10,300 (11,500)	10,300 (9,900)	4	14~28
	30cm 上材	19,700 (19,200)	14,700 (16,400)	14,700 (15,800)	3~5	30~
檜	4m 小丸木材	6,900 (9,700)	6,700 (8,500)	6,500 (8,000)	4	6~12
	3m 柱材	14,000 (12,500)	11,600 (10,900)	10,800 (12,700)	3	14~16
	4m 中目材	18,800 (18,300)	15,600 (16,200)	16,900 (16,700)	4	14~28
	30cm 上材	42,200 (63,500)	34,200 (33,800)	33,300 (34,700)	3~5	30~
杉総平均単価		13,900 (13,700)	10,100 (11,600)	10,200 (10,300)		
檜総平均単価		16,900 (20,500)	13,300 (16,000)	14,800 (16,300)		
総平均単価		14,700 (15,800)	10,700 (13,400)	11,900 (12,500)		

◆◆◆原木市場平均単価◆◆◆

m³単価 ()は平成19年度



フランス パリ大聖堂教会にて

私達は、二年半程前、私がちようど新緑会に入会させて頂いた頃に、共通の知人による紹介をきっかけに交際が始まり、去年十月に入籍致しました。これからはより一層仕事に励みつつ、楽しい家庭を築いていければと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



新婚さん紹介

昭和四十九年 四月十五日生

辻 雅久さん

(新宮市森林組合)

昭和五十三年十一月二四日生

美枝さん

(平成二十年十一月十八日挙式)

「非営利組織の経営」ピーター・F・ドラッカー著より
NPO(非営利組織)こそコミュニティ(地域共同社会・交流の場)である、といわれています。そして、NPO内での個人とリーダーのミッション(使命)について

個人としてのミッション
人はもともと貢献することを好む。したがってボランティアは報酬を得ていないからこそ自らの貢献から満足を得ることにより自己実現が可能である。
リーダーとしての
リーダーたる者は献身し



つつも個たりえなければならぬ。そのとき仕事もうまくいく。自らを仕事の外におかなければならない。さもないければ、大義の為として自らのために仕事をする事となる。自己中心的となり虚栄のとりこになる。とりわけ焼き餅をやくようになる。チャイルドの強みは、どこまでも後進の政治家を育て、後押ししたことにあった。それこそ人の強みに脅かされることのない真のリーダーの証しだった。これに対しローズベルトは自立の兆しを見せる者はすべて切り捨てた。

〈参考〉

日本でも萌芽した共同体

(共同体、リーダー、特産品、交流という四つの要素があれば、高齢化率100%の集落でも結構元気なんです)いわゆる「限界集落」の存続・再生を目指す。"水源の里条例"の制定で注目された京都府綾部市長四方八洲男(しかたやすお)氏・談。NPOは基本的にはこうした事例にコミットすべきです。

NPO法人熊野応援団は概ね旧紀州藩の地域を活動エリアとしています。会員は現在約六百人です。(総務委員 瀬古 穰)

第 49 回木霊塔建立供養式



10月15日組合恒例の木霊塔建立供養式を開催致しました。本年は第49回目を迎えました
が、本年の献木は(有)丸洋 社長 速水 忠男氏にお願いし、杉の素晴らしい木霊塔をご献木
頂きました。速水 忠男氏の父速水 洋氏が平成5年に献木しており親子2代での献木でありま
す。

当日は清水文雅本広寺住職によりまして滞りなく厳かに供養を執り行うことが出来ました。

式典終了後は、木工展表彰式、木遣り音頭の披露、盛大な餅投げ、を行い最後に来賓の皆様と
親交を深める懇親会を行い一連の行事を終了致しました。



除幕の瞬間



餅 投 げ

編集後記

◇本号の表紙は毎年組合行
事の木霊塔建立供養式で
披露しております木遣り
音頭を取り上げました。木
遣り音頭は紀南木材新緑
会が一生懸命に練習して
式典で披露することが近
年の決まり事となっております。
この新緑会も今年
で創立以来五十年を迎え
るとの事で記念行事も検
討しておりますので、その
節は皆様方のご協力をよ
ろしくお願いします。

◇「竜馬がゆく」のような人
口に膾炙(かいしゃ)された作品(その圧倒的ポリ
ーム)も含め紹介する難し
さを思い知らされました。
読解力のなさを痛感。しか
し竜馬の類まれなる明る
さ(特筆すべき「人たら
し」)に引き込まれました。
読後感は爽快です。是非
非ご一読の程を。竜馬は福
山雅治主演で近々お目見
えするそうです。

◇今年、もう一人の怪人
(推理小説・歴史小説・現

代小説・ノンフィクショ
ン・現代史・古代史・とい
ずれの分野も先頭に立つ
ていた巨人)松本清張の生
誕百年だそうです。
(内は半藤一利さんの
説です。

◇本号も総務委員会にて委
員が分担して作成致しま
したが、皆様方からご批評
を頂きますようよろしく
お願いします。



- ◆一月十六日(金)
新春初市
豊富な優良材を取り揃
え、お待ちしております。
- ◆一月十七日(土)
ボウリング大会
- ◆一月二十六日(月)
末社詣り

事務局
休みのおしらせ
十二月二十八日(日)
～一月四日(日)